

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料1-3
提出年月日	令和5年5月19日

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失)

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221124-01	1	比較表 P4) 再循環運転が自動切替でなく手動切替であることが伊方と同等であるのであればその旨を記載すること（その他全般、大飯・高浜と相違があるが他プラントと同様の記載であるのであればその旨明記すること）	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	再循環切替える事象全般について、泊と同等の機能（手動切替え）を有するプラント名を明記しました。	第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 4	
221124-02	2	P5) 177℃”未満”の記載について、同様の運用としている先行プラントがあるなら説明を追加すること	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	余熱除去運転に移行する事象全般について、当該記載の箇所に同様の運用としている先行プラントを明記しました。	第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 5	
221124-03	3	P23) 有効性評価上期待しない操作はグレーハッチングして識別すること（具体的にはb. 補助給水系の機能喪失の判断及び喪失時の対応の常設設備が元々有効性評価上期待しないSA設備としていたものに起因）	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	有効性評価上期待しない操作についてはグレーハッチングをして識別しました。	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ p. 24, 25 第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 23, 24	
221124-04	4	P25, 26) 説明ロジックを考慮し、条件設定の考え方の記載について先行プラントとの整合を図ること。（「加圧器逃がし弁の設計値として設定」⇒「設計値として設定」）	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	条件設定の考え方の記載について、先行プラントとの整合を図りました。	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ p. 27 第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 26	
221124-05	5	P28～30) 事象判定プロセスについて最新の審査実績を適切に反映できているのかが不明なため、技術的能力1.0等を踏まえて検討すること。その上で、相違があるのであれば相違理由を充実させること。	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	最新の審査実績と比較すると、泊の事象判定プロセスの示し方は簡易的であり、情報量が少ないものとなっていたことから、技術的能力1.0の内容も踏まえ、先行他社と同等の内容に見直しました。	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ p. 29, 30 第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 28, 29	

*：検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221124-06	6	P2) CVスプレイの記載について伊方の記載を踏まえて適正化を検討すること（「CV圧力が上昇した場合には」との記載では、ちょっとでも上昇したら対応するとも読める）	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	伊方の記載を参考に以下の通り適正化を行いました。 「原子炉格納容器の圧力が上昇した場合でも、原子炉格納容器スプレイ作動信号により原子炉格納容器スプレイ設備が起動することで、原子炉格納容器除熱を継続的に行う。」	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ p. 6, 10 第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 5, 9	
221124-07	7	P2) 女川ではCVの「除熱」と「冷却」を分けて整理しており、泊での記載を検討して必要に応じて適正化すること。(P2に限らず全般)	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	「除熱」と「冷却」の使い分けは、最終ヒートシンクへ熱を輸送するかどうかで使い分けを行います。 「除熱」：格納容器スプレイ、格納容器再循環ファン、格納容器内自然対流冷却 「冷却」：代替格納容器スプレイ	—	
221124-08	8	まとめ資料7.1.1-19) 「第7.1.1.27第7.1.1.27 図」との重複誤記を修正のこと。	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	誤記を修正しました。	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ 7.1.1-19	
221124-09	9	P46) 炉心露出に係る記載について、先行プラントを参照した充実について検討を行うこと。 また、大飯と泊では露出状況に差があるので、相違理由の記載の充実についても充実を図ること。	R4. 11. 24	回答済	R5. 3. 8 ヒアリング	第7.1.1.31図及び第7.1.1.32図の炉心露出に係る記載について、先行プラントを参考に記載を充実しました。また、比較表にて大飯と泊の炉心露出に係る相違理由の記載を充実しました。	第467回ヒアリング 資料3-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.7.0)』 ・ p. 47 第467回ヒアリング 資料3-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.6.0)』 ・ p. 46	
230308-14	10	比較表16, 18ページ) 感度解析結果の燃料被覆管温度を、先行プラントの記載を確認の上、具体的に記載することを検討し説明すること。	R5. 3. 8	本日回答		感度解析結果の燃料被覆管温度を具体的に記載しました。	資料1-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711 r.9.0)』 p. 17, 19 資料1-2『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.1.1 2次冷却系からの除熱機能喪失 (SAE711-9 r.7.0)』 p. 16, 18	

*：検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。